

## この夏の不思議な体験—世界に通じる力を育てる—第 93 号

メルマガご愛読の皆様、こんにちは。

NPO 法人多言語広場(ピアザ)CELULAS の尾本です。(以下セルラスと表記します)

まだまだ残暑厳しい日が続いていますね。

セルラスではメンバーそれぞれが見つけた夏の様々な体験を、もっと「ことば」にほどこために、各地域の活動拠点である「ピアザ」での報告がまだまだ続いています。

今回はその内の 1 人のお母さんの体験です。入会して間もない彼女が一体どんな体験をしたのか…？どうぞじっくりとお読みください。

### 『これってセルラスの影響！？—スペイン旅行で気付いたこと—』

東京都在住 鈴木 知子(家族構成：夫・娘小学生)

今年の夏休み、友人夫婦に会うため、家族でスペイン南部のアンダルシア地方を訪れました。

私たち家族はセルラスに入ったばかりで多言語活動はわずか 2 カ月の経験・・・というわけで、わかるスペイン語は挨拶程度ですが、この機会にセルラスで感じた『恐れず話す』ということはこのスペイン旅行で実践してみよう思っていました。

しかし入会当初は、セルラスのみんながジェスチャーやハミングのように聞こえる音で話し、伝えている姿を見て、私は大いに戸惑いました。なぜなら私は文章がしっかりできないと口に出せないタイプ。

ところが、みんなが何度もロールプレイをして、仲間の出した音を言っているうちに、少しずつ「ことば」になっていく様子を見て、恥ずかしがって何もしないのではなく、『恐れず話す』ということが大事なのだと思ったのです。

#### 【セルラスの影響 1…どんな言語にも興味が沸く】

飛行機に乗ると、セルラスと一緒に参加している小学生の娘と私は日本語、英語だけでなく、行き先によって様々な言語が聞こえてくることに気が付きました。

今回はフィンランド経由だったので、フィンランド語、スペイン語も流れてきます。

以前だったら興味も持たなかった言語なのに、今は聞こえてくると、何となく娘も私も「なんて言っているのかな？」と興味を持って聞いていました。

経由地のフィンランドでは乗り継ぎの飛行機の時間まで 6 時間ほど空いたため、町に出ました。

市内から空港に戻る電車の中で、車掌のおばさんが娘に話しかけてくれました。

日本から来たことを伝えると、「お土産に。」と娘にペンをくれました。

『恐れず話す』ということをもっとに出かけたので、フィンランド語で「ありがとう」は何とていうかを聞いて、娘はフィンランド語でお礼を言いました。その人が「良い発音ね。」と褒めてくれたので、娘はととても嬉しかったようです。

#### 【セルラスの影響 2…まずは言ってみる姿勢】

さて、現地に着いて『恐れず話そう』とは思ったものの、実際言えるのは自己紹介と「私は日本人です」「〇〇はスペイン語で何と言いますか？」だけ。とても使えそうにない・・・と思っていたら、まさかのチャンス到来！レストランで出会ったおじさんに「どこから来たんですか？」と聞かれて、“よしっ！”と思い

「ソイ、ハポネーズ！」

と尝试してみました。

するとおじさんは、私のスペイン語を聞いてニコツとしながら「ハポネッサ」と言いました。

その時は「間違ってた!？」とちょっと恥ずかしかったのですが、そんな風に現地の人とその国のことばで話げできたことがとても嬉しかった瞬間でした。

### 【セルラスの影響3…全てを使ってとにかく伝える!】

滞在中お世話になった友人宅で、干してあった娘のシャツが階下に落ち、マンションの管理人のお兄さんと話をしなければならなくなりました。

ここで生きたのがセルラスで行っているロールプレイ。わからないことばはジェスチャーでも伝える。

お兄さんはシャツを明日届けると言っているようだけれど、明日は日本に帰るから届けてくれるなら今日でないと困る…。

そこで私は「明日、飛行機で、ビューン！」などと必死にジェスチャーをし、なんとか通じました。

以前の私なら「飛行機、ビューン」なんていうジェスチャーはできませんでした。

思い返せばいい年をして恥ずかしいという気持ちになりますが、目的は「伝える」こと!

そこは達成できたと思います。

今思えば、私たち親子の旅先での体験は、普段のセルラスの活動と全く同じで、様々なところに活動が生きていると感じました。

高校時代に留学して英語を学んだ私は、「外国語は現地で学ぶのが一番」と信じて疑っていませんでした。

そのために、娘は小学生にして外国の学校やキャンプに放り込まれるという災難(?)に遭い、英語が嫌いになりかけていました。

人それぞれだとは思いますが、娘には、親子で一緒に楽しんで、いつの間にかことばや人への向き合い方が身につくようなセルラスの活動が合っているような気がしています。

『子供のために』と思って入ったセルラスですが、親の私も今まで全く触れてこなかった言語に興味を沸いてきている、というのが思わぬ副産物です。

-----  
いかがでしたでしょうか?

多言語活動で培った感覚をもって旅行をすると、一味も二味も違った世界が見えてくることを親子で感じる事ができて、本当に素敵ですね。